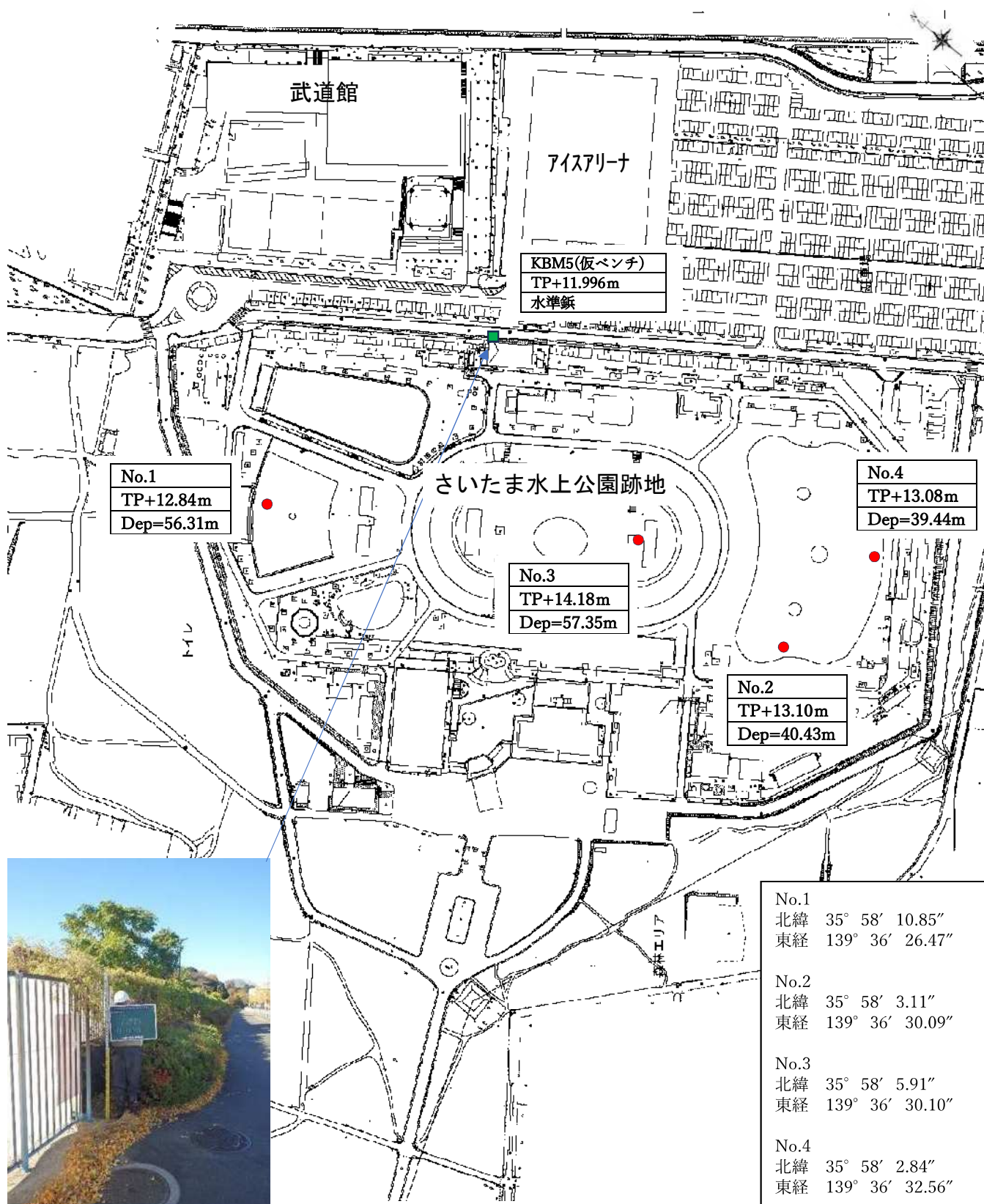


この資料は、令和5年度に実施した調査報告書を抜粋したものです。
その他の必要な資料がありましたらご相談ください。

調査位置図

縮尺 1/2,500



§ 1. 調査概要

1.1 調査目的

本調査は、上尾運動公園内で計画している Park-PFI 事業における施設の設計業務及び工事施工の基礎資料とすることを目的とする。

(Park-PFI 事業：Park-Private Finance Initiative (公募設置管理制度)。公園に施設を設置して運営する民間事業者を公募により選定する制度である。この制度は、公園に民間の優良な投資を誘導することで、管理者の財政負担を軽減しつつ公園の質や利便性を向上させることを目的にしている。)

1.2 調査の一般事項

調査件名：スポーツ科学拠点施設整備事業（地質・土質調査業務委託）

調査場所：上尾運動公園／上尾市日の出4丁目地内 外

調査内容：機械ボーリング（φ66～116mm）

合計深度 244m

※別孔部分も含んだもの

（内訳）

No.1 56m / No.2 40m / No.3 57m / No.4 39m
No.1 別孔 12.0m / No.2 別孔 27.0m / No.3 別孔 13.0m

標準貫入試験（JIS A 1219）

3ヵ所 計 192 回

乱れの少ない試料採取

10ヶ所

土質試験用の攪乱試料

8 試料

室内土質試験

1 式

（調査数量の詳細は、次項の「調査実施数量表」参照）

調査数量：調査実施数量表は次頁の表-1.1 に示すとおりである。

調査期間：（自）令和5年10月19日

（至）令和6年3月15日

使用機械：オイルフィード試錐機

D0-D 型

1 台

発注者：埼玉県県民生活部 スポーツ振興課

調査施工：服部地質調査株式会社

§ 4．調査結果

4.1 地質構成

調査地は、旧さいたま水上公園敷地内で、敷地内で計画している Park-PFI 事業における施設の設計業務及び工事施工が予定されている。

調査結果による土質構成は、後付のボーリング柱状図等に詳しく示すが、その概要は次頁の表-4.1.1 地質構成表にまとめた。また、ボーリング結果と先に述べた地形・地質概要を考え併せて、図-4.1.1 に地層想定断面図を作成した。

地層名およびその境界は今回調査結果のみで設定したものである。

したがって、地層名およびその境界線については、隣接地などで新たに調査が生じた際には、その柱状図データなどをもとにして地層区分や地層記号を、再度、吟味・精査し、必要に応じて変更することが望まれる。

なお、洪積第 3 砂質土層（上）以深の土層については、杭基礎の支持地盤の選定をイメージして、N 値などをもとにして地層想定断面図を作成した。

表-4.1.1 地 質 構 成 表 (標高表示)

時代	地 層 名	地層 記号	層下端深度 (m)				層厚	N 値 範囲	主な 土質
			No. 1	No. 2	No. 3	No. 4			
現世	埋 土 層	B	12.24	12.60	11.58	12.28	0.50 ～ 2.60	3～6	礫混じり 粘性土等
完 新 世	沖積腐植土・ 粘性土層	A _{pc}	---	---	8.68	8.58	0.00 ～ 3.70	0～1.5	有機質シルト シルト質粘土 高有機質土 砂混じり粘土
更 新 世	ローム層	L _m	10.94	11.40	---	---	0.00 ～ 1.30	1.5～3	ローム
	常盤粘土層 相当層	L _c	9.34	10.50	---	---	0.00 ～ 1.60	0～1	凝灰質粘土
	洪積第1 砂質土層	D _{s1}	2.14	1.50	2.28	1.58	6.40 ～ 9.00	2～29	細 砂 礫混じり中砂 粘土質細砂 砂質粘土 など
	洪積第1 粘性土層	D _{c1}	-0.76	-9.70	-9.52	-0.17	1.75 ～ 2.90	3～17	粘 土 砂混じり粘土
	洪積第2 砂質土層	D _{s2}	-8.96	-19.50	-21.52	-8.52	8.20 ～ 9.20	11～50	細 砂 シルト混り細砂
	洪 積 砂質土・ 粘性土層	D _{sc}	-24.46	---	-25.62	-18.32	9.80 ～ 15.50	7～50	砂混りシルト 砂質シルト 貝殻混り細砂 シルト、細砂 など
	洪積第3 砂質土層(上)	D _{s3} (上)	---	-27.33	-28.32	---	0.00 ～ 2.70	10～44	シルト混り細砂 細 砂 シルト
	洪積第3 砂質土層	D _{s3}	-27.86		-33.52	-26.36	2.70 ～ 8.04	28～50	細砂
	洪積第3 砂質土層(下)	D _{s3} (下)	-33.76		-37.62		5.20 ～ 5.90	20～50	硬質シルト 細砂 砂混りシルト
	洪積第2 粘性土層	D _{c2}	-37.56		-43.17		3.80 ～ 4.10	12～34	シルト質細砂 硬質シルト
	洪積第4 砂質土層	D _{s4}	-43.47				5.55 ～ 5.91	50	細砂 礫混じり細砂

層変わり部分のN値については換算N値を計算し、N値範囲を求めた。

() 内の数値は参考値。

※施工順に調査番号をつけたため、中央部付近の地点がNo.3となっている。

表-4.1.2 地 質 構 成 表 (深度表示)

時代	地 層 名	地層 記号	層下端深度(m)				層厚	N 値 範囲	主な 土質
			No. 1	No. 2	No. 3	No. 4			
現世	埋 土 層	B	0.60	0.50	2.60	0.80	0.50 ～ 2.60	3～6	礫混じり 粘性土等
完 新 世	沖積腐植土・ 粘性土層	A _{pc}	---	---	5.50	4.50	0.00 ～ 3.70	0～1.5	有機質シルト シルト質粘土 高有機質土 砂混じり粘土
更 新 世	ローム層	L _m	1.90	1.70	---	---	0.00 ～ 1.30	1.5～3	ローム
	常盤粘土層 相当層	L _c	3.50	2.60	---	---	0.00 ～ 1.60	0～1	凝灰質粘土
	洪積第1 砂質土層	D _{s1}	10.70	11.60	11.90	11.50	6.40 ～ 9.00	2～29	細 砂 礫混じり中砂 粘土質細砂 砂質粘土 など
	洪積第1 粘性土層	D _{c1}	13.60	13.60	14.60	13.25	1.75 ～ 2.90	3～17	粘 土 砂混じり粘土
	洪積第2 砂質土層	D _{s2}	21.80	22.80	23.70	21.60	8.20 ～ 9.20	11～50	細 砂 シルト混り細砂
	洪 積 砂質土・ 粘性土層	D _{sc}	37.30	32.60	37.10	31.40	9.80 ～ 15.50	7～50	砂混りシルト 砂質シルト 貝殻混り細砂 シルト、細砂 など
	洪積第3 砂質土層(上)	D _{s3} (上)	---	---	39.80	---	0.00 ～ 2.70	10～44	シルト混り細砂 細 砂 シルト
	洪積第3 砂質土層	D _{s3}	40.70	40.30	42.50	39.44	2.70 ～ 8.04	28～50	細砂
	洪積第3 砂質土層(下)	D _{s3} (下)	46.60	---	47.70	---	5.20 ～ 5.90	20～50	硬質シルト 細砂 砂混りシルト
	洪積第2 粘性土層	D _{c2}	50.40	---	51.80	---	3.80 ～ 4.10	12～34	シルト質細砂 硬質シルト
	洪積第4 砂質土層	D _{s4}	56.31	---	57.35	---	5.55 ～ 5.91	50	細砂 礫混じり細砂

層変わり部分のN値については換算N値を計算し、N値範囲を求めた。

() 内の数値は参考値。

※施工順に調査番号をつけたため、中央部付近の地点がNo.3となっている。

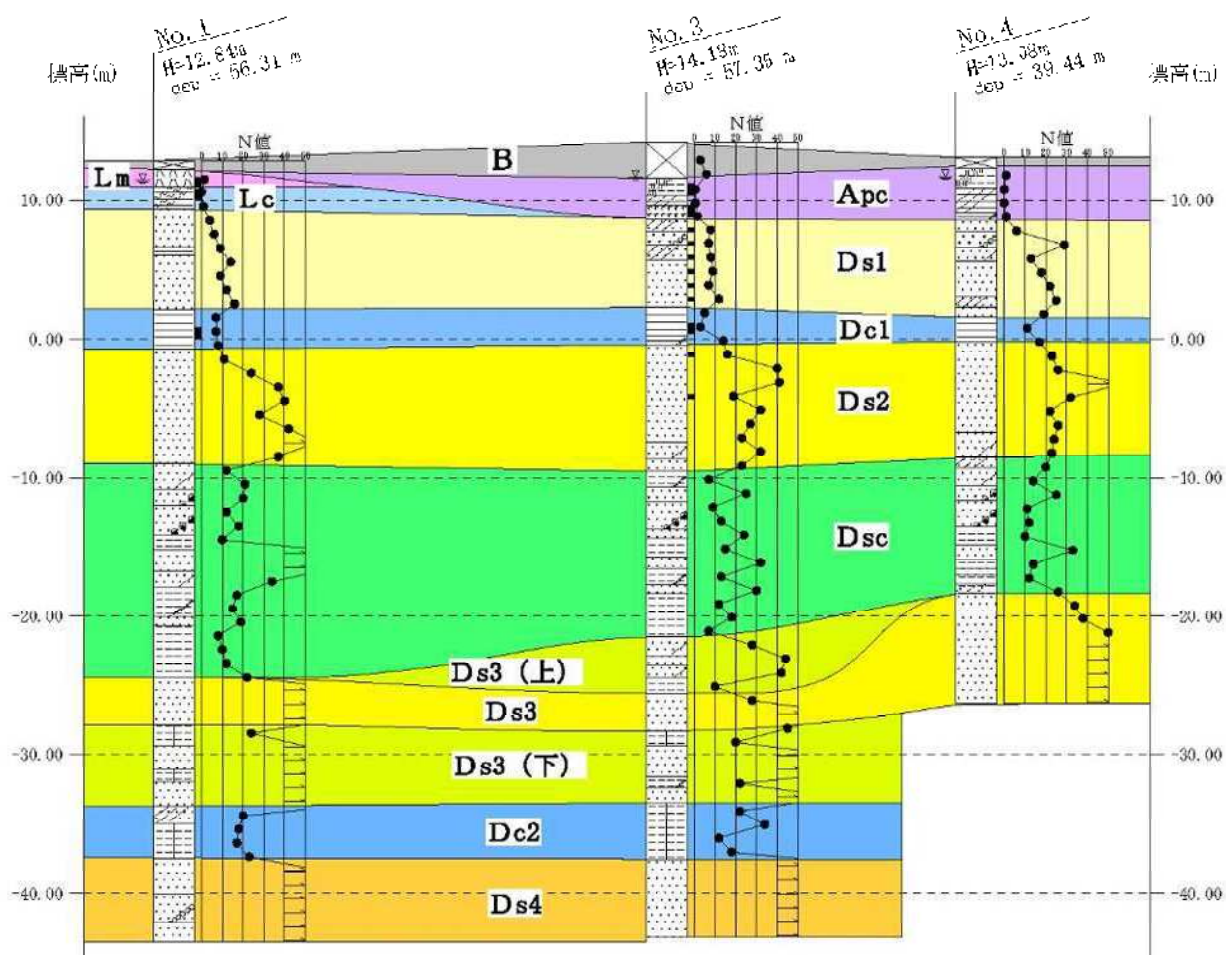
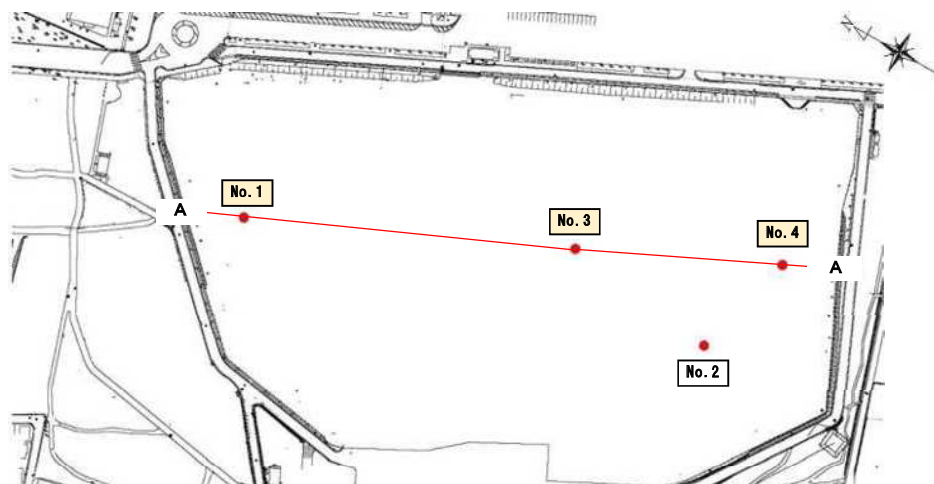


図-4.1.1 地層想定断面図 (A-A) 断面

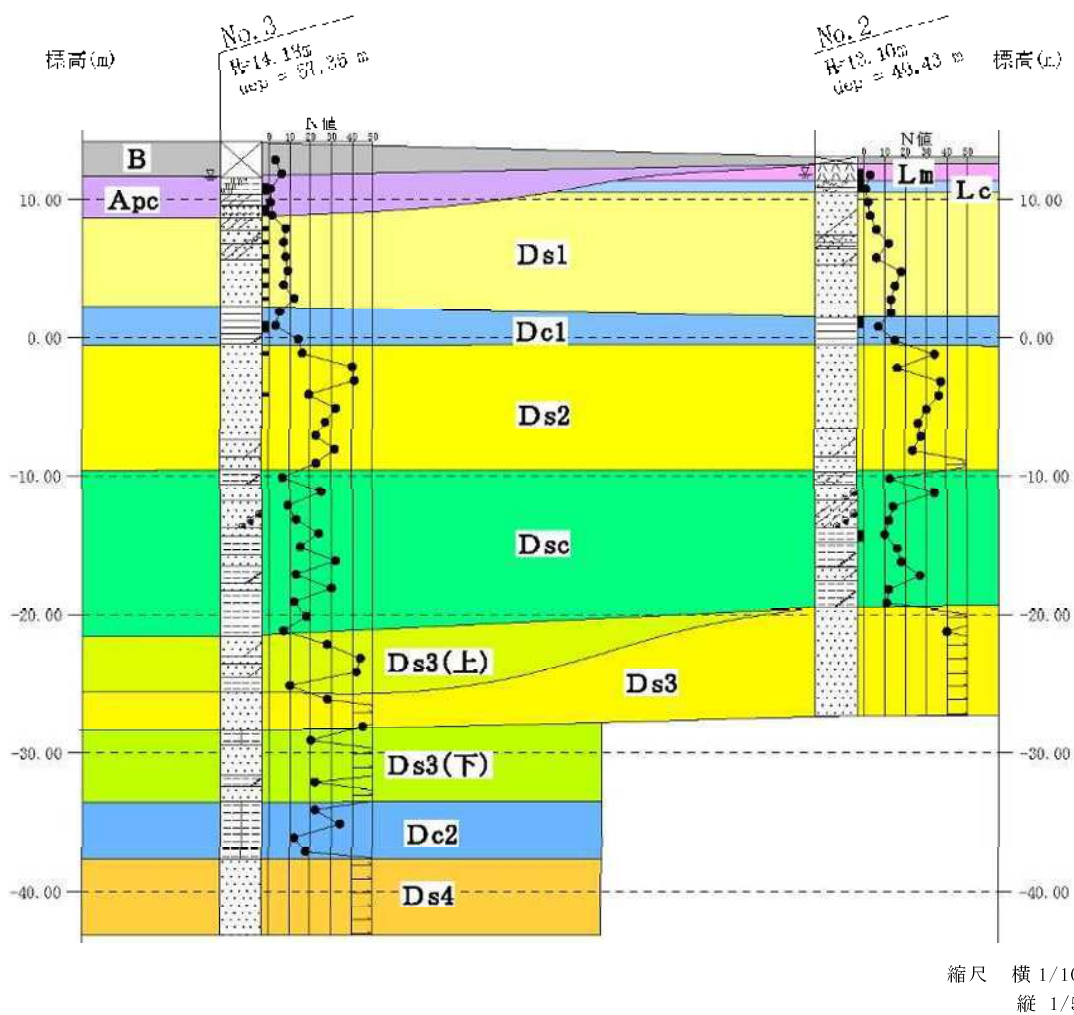
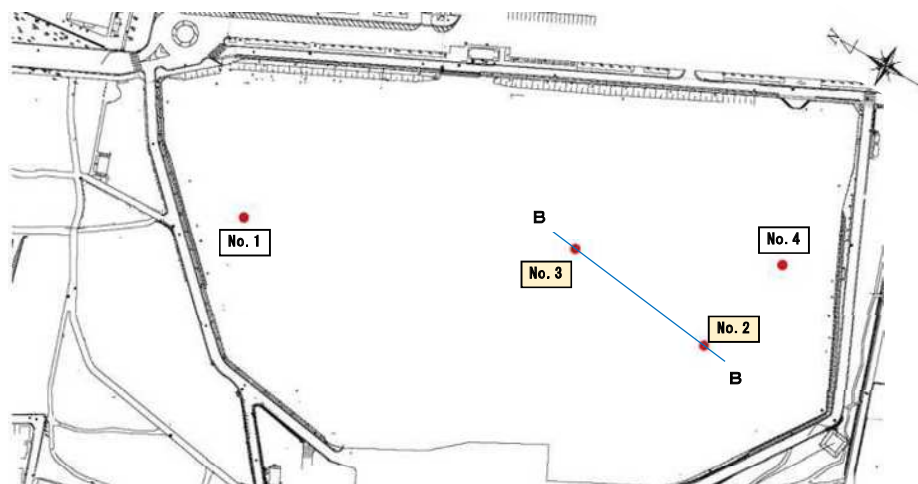


図-4.1.2 地層想定断面図 (B-B) 断面

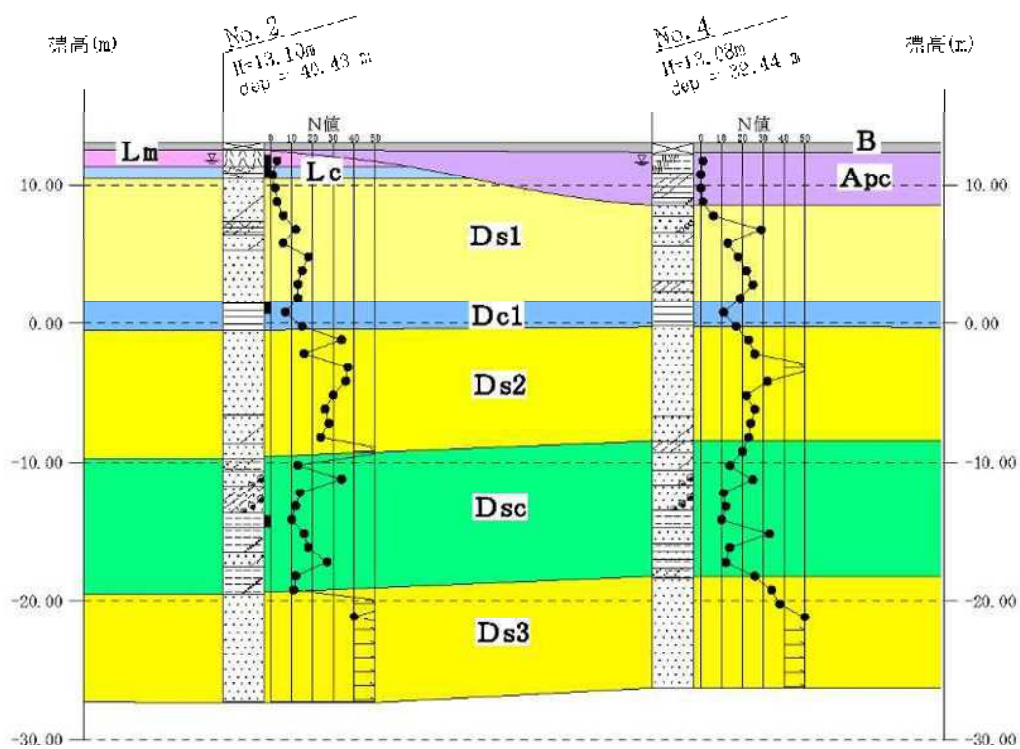
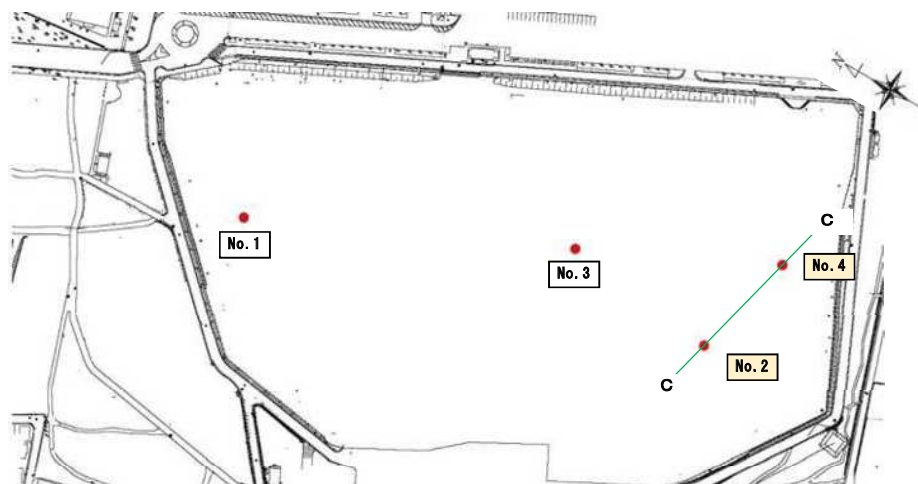


図-4.1.2 地層想定断面図 (C-C) 断面

以下に各地層の特徴を述べる。

〔現 世〕

1. 埋土層（B）

本層は、埋土層である。No. 3 については層厚が厚いことから盛土部も含んでいる可能性がある。

土層内の土質状況は、No. 1 は埋め戻し土で、碎石主体の礫質土である。No. 2 も埋め戻し土で GL-0.00～-0.30mは碎石主体の礫質土、GL-0.30～0.50mはローム質土である。

No. 3 は盛土部と埋め戻し土で構成されている土層と考えられるが、本調査報告書では埋土層として取り扱った。GL-0.00～-0.40mは所々に礫を混入するローム質土で、GL-0.40～-2.20mは所々に礫を混入する粘性土である。GL-2.20～-2.60mは黒ぼく質土である。

No. 4 は埋め戻し土で、GL-0.00～-0.40mは礫混じり砂質土で、GL-0.40～-0.80mは黒ぼく質土である。

色調は暗褐灰色および暗褐色を呈する。

N値は 3～6 を示している。なお、このN値はすべて No. 3 の値である。したがって、土層内の強度は様々な土質よりなるためバラツキがあると考えられるため、あくまで参考値である。

層厚は 0.50～2.60mである。No. 3 で厚くそのほかの地点では 1.00m以内である。

〔完 新 世〕

2. 沖積腐植土・粘性土層（Apc）

本層は、有機質シルト、シルト質粘土、高有機質土、砂混じり粘土よりなる。No. 3 と No. 4 で確認された。

土層内の見掛けの含水量は「中位～多い」で、粘性「中位」～「強い」である。一部の深度で腐植土を多量に混入する。

No. 3 は GL-2.60～-3.80mで有機質シルト、GL-3.80～4.60mがシルト質粘土、GL-4.60～5.50mは高有機質土よりなる。

No. 4 は GL-0.80～-2.20m で有機質シルト、GL-2.20～-4.00m がシルト質粘土、GL-4.00～4.50m は砂混じり粘土よりなる。

色調は黒褐色、暗褐灰色、黒褐色、暗灰色、暗褐灰色など全体的に暗い色を呈する。

N 値は 0～1.5 と「非常に軟らかい」コンシステンシーを示している。

層厚は No. 3 で 2.90m、No. 4 で 3.70m である。

〔更新世〕

3. ローム層 (Lm)

本層は、ロームよりなる。No. 1 と No. 2 で確認された。

土層内の見掛けの含水量は「少ない～中位」、粘性「弱い～中位」で、概ね均質で、No. 1 では GL-1.20m で色調が変化する。

色調は暗褐色および褐色を呈する。

N 値は 1.5～3 と「非常に軟らかい」コンシステンシーを示している。

層厚は No. 1 で 1.30m、No. 2 で 1.20m である。

4. 常盤粘土層相当層 (Lc)

本層は、凝灰質粘土よりなる。

土層内の見掛けの含水量は「中位～多い」、粘性「中位～強い」で、概ね均質である。No. 1 では浮石および炭化物を混入し、GL-3.00m 付近より細砂を少量混入する。No. 2 は、炭化物を混入し、GL-2.40m 付近より細砂を混入する。

色調は淡褐色および淡褐灰色を呈する。

N 値は 0～1 と「非常に軟らかい」コンシステンシーを示している。

層厚は No. 1 で 1.60m、No. 2 では 0.90m である。

5. 洪積砂質土層 (Ds1)

本層は細砂、粘土混じり細砂、砂礫、シルト混じり細砂、粘土質細砂、礫混じり中砂、粘土混じり細砂よりなる。なお、No. 1 の GL-6.20～-6.80m は粘土層を挟み、No. 2 の GL-6.20～-6.70m では砂質粘土層を挟む。

層内は砂の粒子径にはややばらつきが見られる。

土層内の見掛けの含水量は「中位～多い」で、全体的に粘土を不規則に混入または薄層状に挟む。粒子径の粗い中砂、粗砂、小礫なども全体に含有している。なお、No. 1 および No. 2 で確認された挟み層の粘性土の直上部付近では、各地点とも粒子径の粗い砂質土および砂礫（礫径 ϕ 2～20mm 程度の亜角礫および亜円礫が主体）が堆積している。

No. 1 は細砂層と細砂層の間に粘土層を挟み、上部層には粘土分を含有し、全体的に中砂・粗砂・小礫などの粒子径が荒いものを混入する。No. 2 では粘土混じり細砂、砂礫、砂質粘土、シルト混じり細砂、細砂の順に様々な土層より構成されている。No. 3 は粘土質細砂、礫混じり中砂、粘土質細砂、細砂の順に堆積している。No. 4 では細砂、礫混じり中砂、粘土混じり細砂、細砂より構成されている。

色調は暗灰色および暗緑灰色を呈する。

N 値は 2～29 と「非常に緩い～中位」の相対密度を示している。

層厚は 6.40～9.00m である。

6. 洪積粘性土層（Dc1）

本層は、粘土および砂混じり粘土よりなる。

土層内の見掛けの含水量は「少ない～中位」、粘性「弱い～中位」で、概ね均質であるが、層下部では細砂を混入する。層内は所々で固結している箇所がみられるが、No. 3 では $N=3$ を示している箇所（白灰色の粘土）も層内には含まれている。

色調は暗青灰色、青灰色、黄褐色、淡褐灰色、白灰色、暗灰色、暗緑灰色など様々な色調を呈している。

N 値は 3～17 と「軟らかい～非常に硬い」コンシステンシーを示している。

層厚は 1.75～2.90m である。

7. 洪積砂質土層（Ds2）

本層は、細砂およびシルト混じり細砂よりなる。

土層内の見掛けの含水量が「少ない～中位」である。粒子径は概ね均一であるが、所々に中砂・粗砂、微細砂、軽石などを含有している。また、所々やや不

規則にシルトを含有する箇所もみられる。とくに土層下部では、微細砂を多く含有し、シルトを少量混入する箇所がみられる。

色調は暗灰色を呈する。

N値は 11～50 以上と「中位～非常に密な」相対密度を示している。

層厚は 8.20～9.20m である。

8. 洪積砂質土・粘性土層 (D_{sc})

本層は、砂質土と粘性土の互層を呈する中間土層である。

粘性土部分は、砂質シルト、砂混じりシルト、シルトよりなる。

砂質土部分は、貝殻混じり細砂、貝殻混じりシルト混じり細砂、貝殻混じりシルト質細砂、シルト質細砂、シルト混じり細砂、細砂よりなる。

4 か所の土層内の砂質土と粘性土の比率を土質区分にもとづき計算すると、砂質土：粘性土＝51：49 の比率と概ね半々の割合であった。

土層内の見掛けの含水量は「少ない～中位」である。

粘性土部分では、粘性「弱い」状態を示し、有機物が点在する。砂混じりシルト層および砂質シルト層では細砂および微細砂を混入し、不均質な箇所もみられる。

砂質土部分では、砂の粒子径は不均一で貝殻およびシルトを含有している。貝殻を含む土層では ϕ 5～30mm 程度の礫を含有する箇所もみられ、部分的にシルトを多量に混入箇所も確認されている。

色調は暗灰色、暗緑灰色、暗褐灰色を呈する。

N値は 7～50 以上である。粘性土部分の N値は 7～21 と「中位～非常に硬い」コンシステンシーを示し、砂質土部分の N値は 9～50 以上と「緩い～非常に密な」相対密度を示している。

層厚は 9.80～15.50m である。

9. 洪積第 3 砂質土層 (上) (D_{s3}(上))

本層は、下部の洪積第 3 砂質土層と比較すると、N値の落ち込みなどを確認し、かつ、やや上部に堆積する洪積砂質土・粘性土層に近いこと、別層として土層を付けた。No. 3 のみで確認された。

土層内の見掛けの含水量は「少ない～中位」である。砂質土層は細砂・微細砂が主体であるが、シルトを挟在・混在する。GL-38.70～-39.80mはN=10のシルトよりなる。

色調は暗灰色を呈する。

N値は10～44である。粘性土部分のN値は10と「硬い」コンシステンシーを示し、砂質土部分のN値は28～44と「中位～密な」相対密度を示している。

層厚は4.20mである。

10. 洪積第3砂質土層 (Ds3)

本層は細砂よりなる。

土層内の見掛けの含水量は「少ない～中位」で、粒子径はやや不均一である。

No.1ではGL-38.0m付近より中砂を混入する。No.2ではGL-32.60～33.20m、GL-34m付近および土層下端部にてシルトを混入し、GL-36.0～-37.0mおよびGL-40.0m付近では粒子径が細かい。No.3はGL-40.0m付近にてシルトを混入し、GL-40.60～-40.80mおよび41.50～41.70mではシルトを挟在する。No.4ではGL-32.0mおよびGL-33.0mにて軽石を混入し、GL-34.0m付近より粒子径細くなり、GL-37.0m以深は中砂を多く含有している。

色調は暗灰色を呈する。

N値は28～50以上と「中位～非常に密な」相対密度を示している。

層厚は2.70～8.04mである。No.2およびNo.4は本土層にて50回以上が連続6回確認できたため、作業を終了した。No.1およびNo.3では層厚が薄く、確認できなかったため、引き続き掘削した。

11. 洪積第3砂質土層 (下) (Ds3(下))

本層は、上部深度に堆積する洪積第3砂質土層と比較すると、粘性土の含有率が上がることから、別層として取り扱った。No.1とNo.3で確認された。

土層内の見掛けの含水量は「少ない」である。粘性土の粘性は「弱い」状態にあり、砂質土の粒子径は概ね均一であるが、中砂・粗砂を含有する。

色調は暗灰色を呈する。

N値は20～50以上である。粘性土部分のN値は20～50以上と「非常に硬い

～固結した」コンシステンシーを示し、砂質土部分のN値は 50 以上と「非常に密な」相対密度を示している。

層厚は No. 1 が 5.90m、No. 3 が 5.20m である。

12. 洪積第 2 粘性土層 (Dc2)

本層は、シルト質細砂、硬質シルトよりなる。なお、No. 1 のシルト質細砂層は、シルトの含有量が多く N 値が硬質シルトとあまり差異がなかったので本土層として取り扱った。No. 1 と No. 3 で確認された。

土層内の見掛けの含水量は「少ない」、粘性「弱い」状態にあり、有機物が点在する。細砂を少量混入する。

色調は暗灰色、青灰色、暗青灰色を呈する。

N 値は 12～34 と「硬い～固結した」コンシステンシーを示している。

層厚は No. 1 が 3.80m、No. 3 が 4.10m である。

13. 洪積第 4 砂質土層 (Ds4)

本層は細砂、礫混じり細砂よりなる。No. 1 と No. 3 で確認された。

土層内の見掛けの含水量が「少ない～中位」で、粒子径不均一である。

No. 1 は GL-51.70～-52.90m にてシルトを混入し、GL-52.90～-54.90m では中砂および礫径 $\phi 2\sim 8\text{mm}$ 程度の礫を含有し、GL-54.90～-56.31m は所々で中砂を混入し、礫が極少量点在する細砂層となる。

No. 3 は GL-52.0m 付近に礫が点在し、GL-53.0m 付近は粒子径細かい砂となる細砂層である。

色調は暗灰色を呈する。

N 値は 50 以上と「非常に密な」相対密度を示している。

層厚は No. 1 が 5.91m、No. 3 が 5.55m である。

なお、No. 1 地点および No. 3 地点ともに本土層にて N 値＝50 以上が連続で 6 回確認できたので、作業を終了した。

4.2 地下水位

調査ボーリング孔を利用して測定した地下水位は、以下の表に示すとおりである。

表-4.2.1 地 下 水 位

調査地点	地 盤 高 (TP 表示) 単位：m	確認方法	孔内水位	
			深 度 (GL-) 単位：m	標 高 (TP 表示) 単位m
No. 1	TP+12.84	無水掘り 水位	1.41	TP+11.43
No. 2	TP+13.10	無水掘り 水位	1.25	TP+11.85
No. 3	TP+14.18	無水掘り 水位	2.52	TP+11.66
No. 4	TP+13.08	無水掘り 水位	1.38	TP+11.70

今回の調査では孔内水位は上記に示すように TP+11.43～TP+11.85m（埋土層、ローム層、有機質粘土層）で確認された。調査時に確認された地下水位は概ねこの付近と考えられる。

ただし、低地と台地の地形変化部分に位置し、隣接する水路や河川の水位の影響を受けるものと考えられる。また、季節によっては変動があることも留意されたい。

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 スポーツ科学拠点施設整備事業（地質・土質調査業務委託）

事業名 または 工事名 スポーツ科学拠点施設整備事業

調査目的及び調査対象 都市計画 構造物基礎

ボーリング名	No. 1		調査位置	埼玉県上尾市日の出4丁目地内外					北緯	35° 58′ 10.85″				
発注機関	埼玉県 県民生活部 スポーツ振興課				調査期間	2023年 11月 6日 ~ 2023年 12月 12日				東経	139° 36′ 26.47″			
調査業者名	服部地質調査株式会社 電話 048-643-1505		主任技師	嶋崎 敏春 <small>地質調査士 登録番号 第19291号</small>		現場代理人	嶋崎 敏春 <small>地質調査士 登録番号 第19291号</small>		コ 鑑定者	山田 秀悟 <small>地質調査士 登録番号 第14098号</small>		ボーリング責任者	山田 秀悟 <small>地質調査士 登録番号 第14098号</small>	
孔口標高	T. P. 12.84m		<div><div>角 上 下 度</div><div><div><div>180°</div><div>90°</div><div>0°</div><div>270°</div></div><div><div>北</div><div>東</div><div>南</div><div>西</div></div></div></div> <div>方位</div>	<div><div>地盤勾配</div><div><div>水平0°</div><div>鉛直90°</div></div></div> <div>使用機種</div>	試錐機	D0-D								
総削孔長	56.31m				エンジン	NFD-9				ポンプ	V-6			

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記号	孔内水位 測定月日	標準貫入試験					試験採取	室内位置試験	前月日				
												深度-N値図											
												深度	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量							
(m)	(m)	(m)								事		値	(m)			(m)	号	法	験				
1	12.24	0.60		埋土		暗褐色				砕石主体の礫質土	31/07 1.41		1.15 270	1 130	2 100		1.39	1-1	①	物理 三軸 圧縮 試験	11/7		
2	10.94	1.90		凝灰質粘土		淡褐色				含水量少ない～中位 概ね均質 炭化物を混入する 1.20m付近より褐色を呈する			1.35 300	0	0	500	2.80	1-2	①				
3				凝灰質粘土		褐色				含水量中位～多い 概ね均質 粘性中位～強い 砂を少量混入する 5.0m付近より細砂を少量混入する			2.30	0	0	300							
4	9.34	3.50		細砂		褐色				含水量多い 粒子径概ね均一 3.50～4.10m、粘土を少量混入する 4.90～5.10m、粗砂および小礫を混入する 6.0m付近、中砂・粗砂・小礫を混入する			3.43	1 300	1 300								
5				粘土		淡褐色				含水量中位 粒子径不均一 8.0m付近より中砂および粗砂を混入する 細礫および小礫が点在する			4.15 4.43	2 170	1 80	1 50	4 300						
6	6.64	6.20		粘土		暗青灰 青灰				含水量少ない 粘性弱い～中位 概ね均質			5.15 6.43	2 4	2 3	2 9	6 300						
7	6.04	6.80		細砂		褐色				含水量中位 粒子径不均一 8.0m付近より中砂および粗砂を混入する 細礫および小礫が点在する			6.15 7.43	4 5	2 5	3 14	9 300						
8				粘土		暗青灰 青灰				含水量少ない 粘性弱い～中位 概ね均質である 11.0m付近、有機物が点在する 12.0m付近より青灰色を呈する 13.30mより細砂を混入する			8.15 9.43	2 4	3 4	4 9	9 300						
9	2.14	10.70		細砂						含水量中位 粒子径概ね均一 14.0m付近、所々で中砂を混入する 17.0m付近まで中砂を混入する 17.0m付近より所々で微細砂が薄層状に挟在する 18.0m付近、所々でシルトを極少量を混入する 19.0～20.0m、軽石がシーム状に挟在する 21.0m付近、微細砂が主体である			9.15 10.43	4 5	4 5	4 16	12 300						
10				細砂						含水量中位 粒子径概ね均一 14.0m付近、所々で中砂を混入する 17.0m付近まで中砂を混入する 17.0m付近より所々で微細砂が薄層状に挟在する 18.0m付近、所々でシルトを極少量を混入する 19.0～20.0m、軽石がシーム状に挟在する 21.0m付近、微細砂が主体である			10.15 10.43	5 6	5 5	5 16	16 300						
11	2.14	10.70		粘土		暗青灰 青灰				含水量少ない 粘性弱い～中位 概ね均質である 11.0m付近、有機物が点在する 12.0m付近より青灰色を呈する 13.30mより細砂を混入する			11.15 11.43	2 2	2 3	3 7	7 300						
12				粘土		暗青灰 青灰				含水量中位 粒子径概ね均一 14.0m付近、所々で中砂を混入する 17.0m付近まで中砂を混入する 17.0m付近より所々で微細砂が薄層状に挟在する 18.0m付近、所々でシルトを極少量を混入する 19.0～20.0m、軽石がシーム状に挟在する 21.0m付近、微細砂が主体である			12.15 12.43	2 3	2 3	3 7	7 300	12.00	1-3	①	物理 三軸 圧縮 試験		
13	-0.76	13.60		細砂						含水量中位 粒子径概ね均一 14.0m付近、所々で中砂を混入する 17.0m付近まで中砂を混入する 17.0m付近より所々で微細砂が薄層状に挟在する 18.0m付近、所々でシルトを極少量を混入する 19.0～20.0m、軽石がシーム状に挟在する 21.0m付近、微細砂が主体である			13.15 13.43	2 3	3 3	3 8	8 300	12.80					
14				細砂						含水量中位 粒子径概ね均一 14.0m付近、所々で中砂を混入する 17.0m付近まで中砂を混入する 17.0m付近より所々で微細砂が薄層状に挟在する 18.0m付近、所々でシルトを極少量を混入する 19.0～20.0m、軽石がシーム状に挟在する 21.0m付近、微細砂が主体である			14.15 14.43	4 3	4 4	4 11	11 300						
15				細砂						含水量中位 粒子径概ね均一 14.0m付近、所々で中砂を混入する 17.0m付近まで中砂を混入する 17.0m付近より所々で微細砂が薄層状に挟在する 18.0m付近、所々でシルトを極少量を混入する 19.0～20.0m、軽石がシーム状に挟在する 21.0m付近、微細砂が主体である			15.15 15.43	5 8	8 11	8 24	24 300						
16				細砂						含水量中位 粒子径概ね均一 14.0m付近、所々で中砂を混入する 17.0m付近まで中砂を混入する 17.0m付近より所々で微細砂が薄層状に挟在する 18.0m付近、所々でシルトを極少量を混入する 19.0～20.0m、軽石がシーム状に挟在する 21.0m付近、微細砂が主体である			16.15 16.43	10 13	14 14	14 37	37 300						
17				細砂		暗褐色				含水量中位 粒子径概ね均一 14.0m付近、所々で中砂を混入する 17.0m付近まで中砂を混入する 17.0m付近より所々で微細砂が薄層状に挟在する 18.0m付近、所々でシルトを極少量を混入する 19.0～20.0m、軽石がシーム状に挟在する 21.0m付近、微細砂が主体である			17.15 17.43	12 13	13 15	15 40	40 300						
18				細砂						含水量中位 粒子径概ね均一 14.0m付近、所々で中砂を混入する 17.0m付近まで中砂を混入する 17.0m付近より所々で微細砂が薄層状に挟在する 18.0m付近、所々でシルトを極少量を混入する 19.0～20.0m、軽石がシーム状に挟在する 21.0m付近、微細砂が主体である			18.15 18.43	9 9	9 10	10 28	28 300						
19				細砂						含水量中位 粒子径概ね均一 14.0m付近、所々で中砂を混入する 17.0m付近まで中砂を混入する 17.0m付近より所々で微細砂が薄層状に挟在する 18.0m付近、所々でシルトを極少量を混入する 19.0～20.0m、軽石がシーム状に挟在する 21.0m付近、微細砂が主体である			19.15 19.43	9 9	15 18	18 42	42 300						
20				細砂						含水量中位 粒子径概ね均一 14.0m付近、所々で中砂を混入する 17.0m付近まで中砂を混入する 17.0m付近より所々で微細砂が薄層状に挟在する 18.0m付近、所々でシルトを極少量を混入する 19.0～20.0m、軽石がシーム状に挟在する 21.0m付近、微細砂が主体である			20.15 20.43	12 12	20 18	18 50	50 270	270					
21				細砂						含水量中位 粒子径概ね均一 14.0m付近、所々で中砂を混入する 17.0m付近まで中砂を混入する 17.0m付近より所々で微細砂が薄層状に挟在する 18.0m付近、所々でシルトを極少量を混入する 19.0～20.0m、軽石がシーム状に挟在する 21.0m付近、微細砂が主体である			21.15 21.43	12 13	12 12	12 37	37 300						
22	-0.96	21.80		シルト混じり細砂		暗褐色				含水量中位 粒子径細かく均一 シルトを少量混入する 23.0m付近、所々固結している			22.15 22.43	3 4	4 5	5 12	12 300						
23	-10.86	23.70		貝殻混じり細砂		暗褐色				含水量中位 粒子径細かく均一 シルトを少量混入する 23.0m付近、所々固結している			23.15 23.43	6 7	7 8	8 21	21 300						
24	-11.96	24.80		貝殻混じり細砂		暗褐色				含水量中位 粒子径概ね均一 貝殻片を多量に混入する			24.15 24.43	5 7	7 8	8 20	20 300						

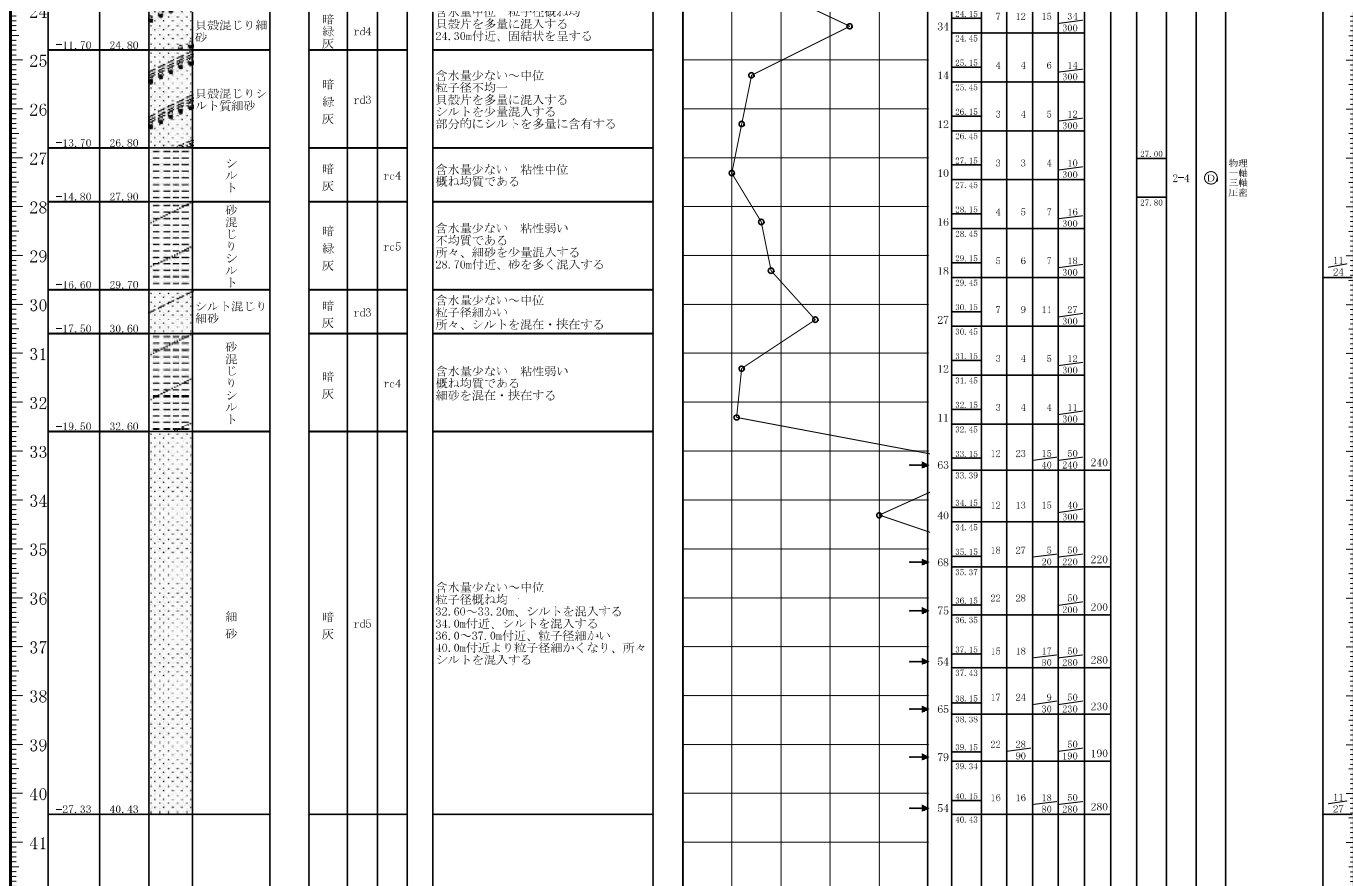
層番号	層名	層厚 (m)	土質	含水率 (%)	液性指数	粒度 (mm)	備考
24	貝殻混じり細砂	11.96	24.80				
25	貝殻混じりシルト混じり細砂	14.06	26.90				
26	シルト	15.16	28.00				
27	細砂	16.66	29.50				
28	シルト混じり細砂	17.86	30.70				
29	砂混じりシルト	20.06	32.90				
30	細砂	20.76	33.60				
31	シルト	24.46	37.30				
32	細砂	27.86	40.70				
33	硬質シルト	29.41	42.25				
34	細砂	31.06	43.90				
35	固結シルト	31.96	44.80				
36	細砂	33.76	46.60				
37	シルト質細砂	35.06	47.90				
38	硬質シルト	37.56	50.40				
39	細砂	40.06	52.90				
40	硬質シルト	42.06	54.90				
41	細砂	43.47	56.31				

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	スポーツ科学拠点施設整備事業（地質・土質調査業務委託）		
事業名または工事名	スポーツ科学拠点施設整備事業		
調査目的及び調査対象	都市計画 構造物基礎		




ボーリング名	No. 2		調査位置		埼玉県上尾市日の出4丁目地内外					北緯		35° 58′ 3.11″								
発注機関	埼玉県 県民生活部 スポーツ振興課				調査期間		2023年 11月 6日 ～ 2023年 12月 12日					東経		139° 36′ 30.09″						
調査業者名	服部地質調査株式会社 電話 048-643-1505			主任技師		嶋崎 敏春 <small>地質調査技士 登録番号: 第19291号</small>		現 場 代 理 人		嶋崎 敏春 <small>地質調査技士 登録番号: 第19291号</small>		コ 監 定 者		山田 秀悟 <small>地質調査技士 登録番号: 第14098号</small>		ボーリング責任者		山田 秀悟 <small>地質調査技士 登録番号: 第14098号</small>		
孔口標高	T.P. 13.10m		<div>角 上下 度</div> <div><div>180°</div><div>90°</div><div>0°</div><div>0°</div></div>	方位	<div><div>北 0°</div><div>270° 西</div><div>180° 南</div><div>0° 東</div></div>	地盤勾配	<div><div>水平 0°</div><div>鉛直 90°</div><div>0°</div></div>	使用機種	試験機		D0-D		エンジン		NFD-9		ポンプ		V-6	
総削孔長	40.43m																			

標尺	標高	深度	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代	地質時代名	記	孔内水位／測定月日	標準貫入試験										試料採取	室内位置試験	削孔						
													深度-N値図																		
(m)	(m)	(m)									事		0	10	20	30	40	50	N値	深度	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度	試料番号	採取方法	試験	月日		
	12.60	0.50		埋土		暗褐色					0.00~0.30m、砕石混じり硬質土 0.30~0.50m、ローム質土	11/22 1.25									3	1.15 120	1 1	1 1	3 300	0.90	2-1	①	物理 三軸 圧縮 物理 三軸 圧縮		
1	11.40	1.70		ローム		褐色			rc2		含水量少ない~中位 粘性弱い~中位 概ね均質										1	1.45 250	1 0	1 1	3 300	1.70 1.70	2-2	①			
2	10.50	2.50		凝灰質粘土		淡褐色			rc1		含水量中位~多い、粘性中位~強い 概ね均質、所々炭化物を混入する 2.40m付近より細砂を混入する										2	2.50 250	1 1	1 1	2 300	2.50					
3																					1	2.80 250	1 1	1 1	3 300						
4				粘土混じり細砂		褐色			rd1		含水量多い、粒子径概ね均一 粘土を少量混入する 部分的に粘土を多く含有する 3.0m付近、酸化している										2	3.15 250	1 1	1 1	2 300						
5	7.40	5.70																			3	3.45 150	1 2	1 1	3 300						
6	6.90	6.20		砂礫		暗褐色					含水量多い、マトリックスは細砂 礫径φ2~20mm程度の亜角礫・近円礫が主体										6	5.15 150	2 1	3 1	6 300						
7	6.40	6.70		砂質粘土		黄褐色			rc4		含水量少ない、粘性弱い、不均質、細砂を多量に混入する										12	6.15 250	3 2	4 5	12 300						
8	5.30	7.80		シルト混じり細砂		褐色			rd2		含水量中位、粒子径細かく均一 所々、シルトを少量混入する										6	6.45 250	2 2	2 2	6 300						
9																					18	7.15 250	5 6	7 7	18 300						
10				細砂		褐色			rd3		含水量中位、粒子径概ね均一 所々、中砂を混入する 11.0m付近、粒子径細かく、部分的にシルトを少量混入する										15	8.15 250	4 5	6 6	15 300						
11	1.50	11.60																			13	8.45 250	4 4	5 5	13 300						
12				粘土		黄褐色			rc3		含水量少ない、粘性弱い、概ね均質 12.15mより青灰色を呈する 12.40mより硬質となる 13.30mより細砂を混入する										13	9.15 250	2 2	3 3	7 300	11.50	2-3	①	物理 三軸 圧縮 物理 三軸 圧縮		
13	-0.50	13.60				黄褐色															15	9.45 250	4 5	5 5	15 300	12.40					
14																					34	10.15 250	8 12	14 14	34 300						
15																					16	10.45 250	4 5	7 7	16 300						
16				細砂		暗褐色			rd4		含水量中位、粒子径概ね均一 所々、中砂を混入する 15.0m付近、所々シルトを混入する 18.0m付近、微細砂が主体である 19.0m付近、所々軽石をシーム状に挟入する										37	10.75 250	11 12	14 14	37 300						
17																					36	11.15 250	9 12	15 15	36 300						
18																					30	11.45 250	8 10	12 12	30 300						
19																					26	11.75 250	6 8	12 12	26 300						
20	-6.60	19.70		シルト混じり細砂		暗褐色			rd3		含水量少ない、粒子径細かい 微細砂が主体である 所々、シルトを少量混入する										28	11.95 250	5 9	14 14	28 300						
21	-8.60	21.70																			24	12.15 250	7 8	9 9	24 300						
22	-9.70	22.80		細砂		暗褐色			rd5		含水量少ない、粒子径細かい 微細砂が主体である										60	12.45 250	16 21	13 13	50 250	250					
23	-10.60	23.70		砂質シルト		暗褐色			rc4		含水量少ない、粘性弱い、不均質 細砂を多量に混入する										13	12.75 250	3 4	6 6	13 300						
24	-11.70	24.80		貝殻混じり細砂		暗褐色			rd4		含水量中位、粒子径概ね均一 貝殻片を多量に混入する 24.30m付近、固結状を呈する										34	13.15 250	7 12	15 15	34 300						

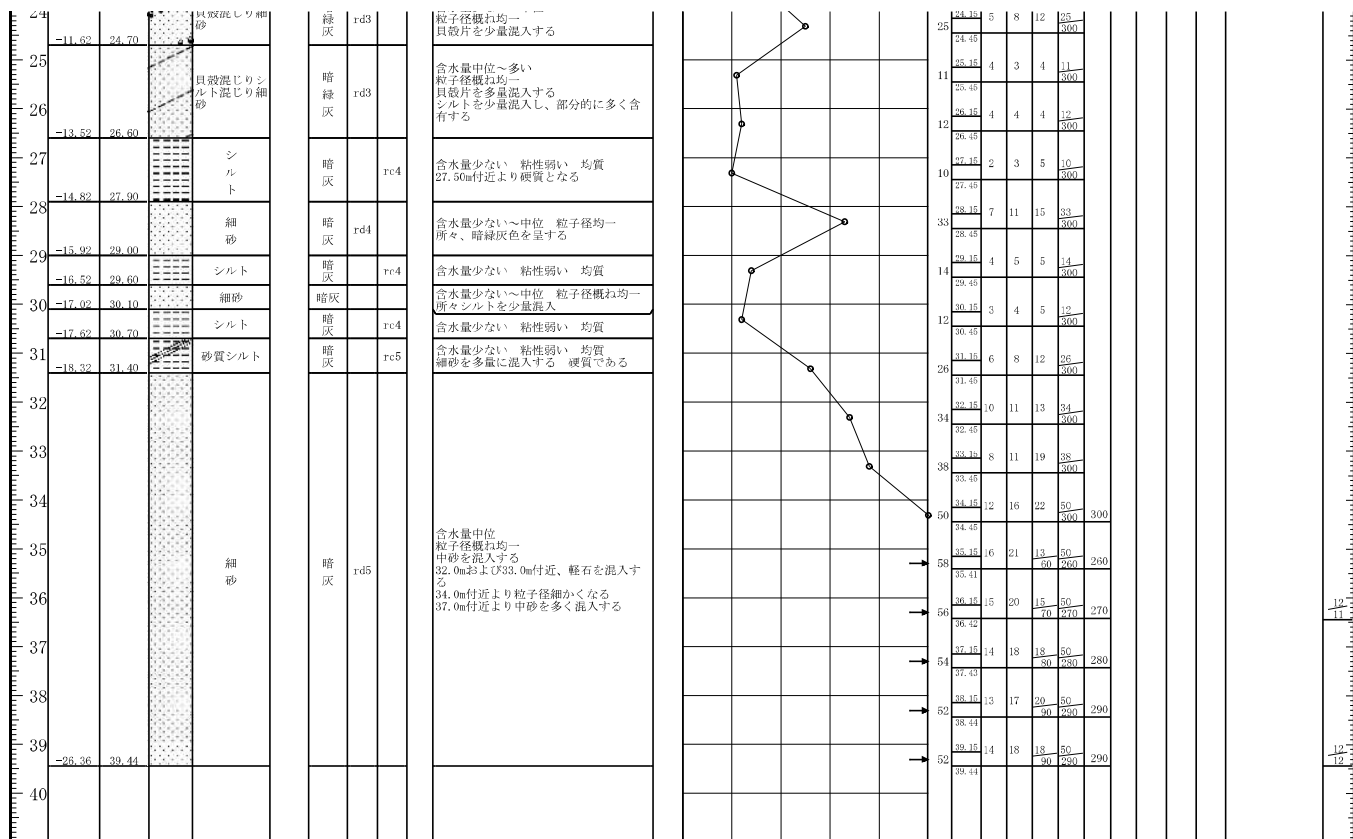


土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	スポーツ科学拠点施設整備事業（地質・土質調査業務委託）		
事業名 または 工事名	スポーツ科学拠点施設整備事業		
調査目的及び調査対象	都市計画 構造物基礎		




ボーリング名	No. 3		調査位置		埼玉県上尾市日の出4丁目地内外					北緯	35° 58' 5.91"								
発注機関	埼玉県 県民生活部 スポーツ振興課					調査期間					2023年 11月 6日 ~ 2023年 12月 12日		東経	139° 36' 30.10"					
調査業者名	服部地質調査株式会社 電話 048-643-1505			主任技師		嶋崎 敏春 <small>地質調査技士 登録番号: 第19291号</small>		現場代理人		嶋崎 敏春 <small>地質調査技士 登録番号: 第19291号</small>		コピャ定者		山田 秀悟 <small>地質調査技士 登録番号: 第14098号</small>		ボーリング責任者	山田 秀悟 <small>地質調査技士 登録番号: 第14098号</small>		
孔口標高	T.P. 14.18m		<div>角 度</div> <div></div>	方位	<div></div>		地盤勾配	<div></div>		使用機種	試験機		D0-D		エンジン	ポンプ		V-6	
総削孔長	57.35m																		

標尺	標高	深度	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代	記 事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験										試料採取		室内位置試験	削孔月日		
												深度-N値図		N値	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数			50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号	採取方法				
(m)	(m)	(m)									0	10	20			30	40	50						値	0	100	200
1				埋 土		暗 褐				0.00～0.40m、所々礫を混入するローム質土 0.40～2.20m、所々礫を混入する粘性土 2.20～2.60m、黒ばく質土	12/01 4.52							3	1.15	1	1	1	3				
2	11.58	2.60																6	2.15	2	2	2	6				
3				有機質シルト		黒 褐		rc1		含水量中位 概ね均質								1	3.15	1		1	3	3.60	3-1	①	物理三軸圧縮
4	10.38	3.80		シルト質粘土		暗 褐		rc1		含水量中位～多い 粘性中位～多い 概ね均質 腐植物を混入する								1	3.65	1		1	3	3.80			
5	9.58	4.60		高有機質土		黒 褐		rc1		含水量中位 粘性弱い～中位 不均質 腐植物を多量に混入する								1	4.15	1		1	4	4.60			
6	8.68	5.50		粘土質細砂		褐 灰		rd2		含水量多い 粒子径概ね均一 粘土を多量に混入する 所々、酸化している								2	4.65	1	1	1	2	5.40	3-2	①	物理三軸圧縮
7	7.78	6.40		礫混じり中砂		褐 灰		rd2		含水量多い 粒子径概ね均一 礫径φ2～8mm程度の礫を混入する								8	5.15	2	3	3	8	6.15	P-3	①	粒度測定 含水
8	6.78	7.40		粘土質細砂		褐 灰		rd2		含水量多い 粒子径概ね均一 粘土を多量に混入する								7	6.15	2	2	3	7	6.45	P-3	①	粒度測定 含水
9	5.68	8.50																8	7.15	2	2	4	8	7.45	P-3	①	粒度測定 含水
10				細 砂		褐 灰		rd3		含水量中位～多い 粒子径概ね均一 中砂を混入する								9	8.15	2	3	4	9	8.45	P-3	①	粒度測定 含水
11																		9	9.15	2	2	3	7	9.45	P-3	①	粒度測定 含水
12	2.28	11.90																7	10.15	2	2	3	7	10.45	P-3	①	粒度測定 含水
13	0.28	13.90		粘 土		淡褐色／白灰		rc2		含水量少ない～中位 粘性弱い～中位 概ね均質である 12.70m付近より固結状を呈する 13.00m付近より白灰色を呈する								12	11.45	3	4	5	12	11.75	P-3	①	粒度測定 含水
14	-0.42	14.60		砂混じり粘土		淡褐色		rc4		含水量少ない 粘性弱い 概ね均質 所々、細砂を混入し、硬質である								14	12.45	1	2	2	5	13.00	3-3	①	物理三軸圧縮
15																		5	13.45	1	2		3	13.80			
16																		3	14.45	4	5	5	14	15.15	P-3	①	物理三軸圧縮
17																		14	15.15	4	5	7	16	15.45	P-3	①	物理三軸圧縮
18																		16	16.15	4	5	7	16	16.45	P-3	①	物理三軸圧縮
19																		16	17.15	11	14	15	49	18.45	P-3	①	物理三軸圧縮
20																		40	18.45	11	14	15	49	18.45	P-3	①	物理三軸圧縮
21																		40	19.15	10	13	18	41	19.45	P-3	①	物理三軸圧縮
22				細 砂		暗 灰		rd4		含水量中位 粒子径概ね均一 中砂を混入する 17.0m付近、粗砂を混入する 18.0m付近より粒子径細かく微細砂が主体である 18.05～18.25m、シルトが存在する								41	17.45	3	7	9	19	18.15	P-3	①	物理三軸圧縮
23																		19	18.45	3	7	9	19	18.45	P-3	①	物理三軸圧縮
24																		32	19.45	8	10	14	32	20.45	P-3	①	物理三軸圧縮
25																		32	20.45	7	9	11	27	21.45	P-3	①	物理三軸圧縮
26																		27	21.45	7	8	8	23	22.45	P-3	①	物理三軸圧縮
27																		23	22.45	6	7	10	23	23.45	P-3	①	物理三軸圧縮
28																		23	23.45	6	7	10	23	24.45	P-3	①	物理三軸圧縮
29																		23	24.45	2	2	3	7	25.45	P-3	①	物理三軸圧縮
30																		7	25.45	2	2	3	7	26.45	P-3	①	物理三軸圧縮
31																		7	26.45	2	2	3	7	27.45	P-3	①	物理三軸圧縮
32																		7	27.45	2	2	3	7	28.45	P-3	①	物理三軸圧縮
33																		7	28.45	2	2	3	7	29.45	P-3	①	物理三軸圧縮
34																		7	29.45	2	2	3	7	30.45	P-3	①	物理三軸圧縮
35																		7	30.45	2	2	3	7	31.45	P-3	①	物理三軸圧縮
36																		7	31.45	2	2	3	7	32.45	P-3	①	物理三軸圧縮
37																		7	32.45	2	2	3	7	33.45	P-3	①	物理三軸圧縮
38																		7	33.45	2	2	3	7	34.45	P-3	①	物理三軸圧縮
39																		7	34.45	2	2	3	7	35.45	P-3	①	物理三軸圧縮
40																		7	35.45	2	2	3	7	36.45	P-3	①	物理三軸圧縮
41																		7	36.45	2	2	3	7	37.45	P-3	①	物理三軸圧縮
42																		7	37.45	2	2	3	7	38.45	P-3	①	物理三軸圧縮
43																		7	38.45	2	2	3	7	39.45	P-3	①	物理三軸圧縮
44																		7	39.45	2	2	3	7	40.45	P-3	①	物理三軸圧縮
45																		7	40.45	2	2	3	7	41.45	P-3	①	物理三軸圧縮
46																		7	41.45	2	2	3	7	42.45	P-3	①	物理三軸圧縮
47																		7	42.45	2	2	3	7	43.45	P-3	①	物理三軸圧縮
48																		7	43.45	2	2	3	7	44.45	P-3	①	物理三軸圧縮
49																		7	44.45	2	2	3	7	45.45	P-3	①	物理三軸圧縮
50																		7	45.45	2	2	3	7	46.45	P-3	①	物理三軸圧縮
51																		7	46.45	2	2	3	7	47.45	P-3	①	物理三軸圧縮
52																		7	47.45	2	2	3	7	48.45	P-3	①	物理三軸圧縮
53																		7	48.45	2	2	3	7	49.45	P-3	①	物理三軸圧縮
54																		7	49.45	2	2	3	7	50.45	P-3	①	物理三軸圧縮
55																		7	50.45	2	2	3	7	51.45	P-3	①	物理三軸圧縮
56																		7	51.45	2	2	3	7	52.45	P-3	①	物理三軸圧縮
57																		7	52.45	2	2	3	7	53.45	P-3	①	物理三軸圧縮
58																		7	53.45	2	2	3	7	54.45	P-3	①	物理三軸圧縮
59																		7	54.45	2	2	3	7	55.45	P-3	①	物理三軸圧縮
60																		7	55.45	2	2	3	7	56.45	P-3	①	物理三軸圧縮
61																		7	56.45	2	2	3	7	57.45	P-3	①	物理三軸圧縮
62																		7	57.45	2	2	3	7	58.45	P-3	①	物理三軸圧縮
63																		7	58.45	2	2	3	7	59.45	P-3	①	物理三軸圧縮
64																		7	59.45	2	2	3	7	60.45	P-3	①	物理三軸圧縮
65																		7	60.45	2	2	3	7	61.45	P-3	①	物理三軸圧縮
66																		7	61.45	2	2	3	7	62.45	P-3	①	物理三軸圧縮
67																		7	62.45	2	2	3	7	63.45	P-3	①	物理三軸圧縮
68																		7	63.45	2	2	3	7	64.45	P-3	①	物理三軸圧縮
69																		7	64.45	2	2	3	7	65.45	P-3	①	物理三軸圧縮
70																		7	65.45	2	2	3	7	66.45	P-3	①	物理三軸圧縮
71																		7	66.45	2	2	3	7	67.45	P-3	①	物理三軸圧縮
72																		7	67.45	2	2	3	7	68.45	P-3	①	物理三軸圧縮
73																		7	68.45	2	2	3	7	69.45	P-3	①	物理三軸圧縮
74																		7	69.45	2	2	3	7	70.45	P-3	①	物理三軸圧縮
75																											



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名	スポーツ科学拠点施設整備事業（地質・土質調査業務委託）		
事業名 または 工事名	スポーツ科学拠点施設整備事業		
調査目的及び調査対象	都市計画 構造物基礎		

ボーリング名			No. 4		調査位置		埼玉県上尾市日の出4丁目地内外					北 緯		35° 58′ 2.84″								
発 注 機 関			埼玉県 県民生活部 スポーツ振興課					調査期間		2023年 11月 6日 ～ 2023年 12月 12日					東 経		139° 36′ 32.56″					
調査業者名			服部地質調査株式会社 電 話 048-643-1505			主任技師		嶋崎 敏春 <small>地質調査技士 登録番号 第19291号</small>			現 場 代 理 人		嶋崎 敏春 <small>地質調査技士 登録番号 第19291号</small>		コ ー デ ィ ン グ 者		山田 秀悟 <small>地質調査技士 登録番号 第14098号</small>		ボーリング責任者		山田 秀悟 <small>地質調査技士 登録番号 第14098号</small>	
孔 口 標 高		T. P. 13.08m		角 度 	方 位 	地盤勾配 	使用機種	試験機		D0-D												
総 削 孔 長		39.44m						エンジン		NFD-9					ポン プ		V-6					

標 尺	標 高 (m)	深 度 (m)	現 場 土 質 名 (模 様)	現 場 土 質 名	地 盤 材 料 の 工 学 的 分 類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔 内 水 位 ／ 測 定 月 日	標 準 貫 入 試 験						試料採取 深 度 (m)	試料 番号	採取 方法	室 内 位 置 試 験	原 位 試 験	削 孔 月 日		
												深度－N値図													
												N 深 度 値 (m)	100mmごとの 打撃回数 0 100 200 300	打撃ごとの貫入量 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25	50 回 の 貫 入 量 (mm)	自 沈 時 の 貫 入 量 (mm)									
1	12.28	0.80		埋 土		暗 褐				0.00～0.40m、凝混じり砂質土 0.40～0.80m、黒ぼく質土	12/08 1.95	1 1.13 1.43 2.00	1 1 1	1 1 1	600										
2	10.88	2.20		有機質シルト		暗 褐		rc1		含水量少ない～中位 粘性弱い～中位 概ね均質である		0 2.60 3.00	0 1 1	0 1 1	600										
3				シルト質粘土		暗 褐		rc1		含水量中位～多い 概ね均質である 腐植物を混入する 3.00m付近より暗褐色を呈する 3.60m付近より所々有機質を帯びる		0 2.60 3.00	0 1 1	0 1 1	600										
4	9.08	4.00		砂混じり粘土		暗 褐		rc1		含水量少ない～中位 粘性中位～強い 不均質である		1 4.43 5.13	1 1 1	1 1 1											
5	8.58	4.50		細砂		暗 褐				含水量中位～多い 粒子径概ね均一 上部、粘土を混入する		6 5.13 5.43	1 1 1	2 2 2	6 6 6										
6	7.78	5.30		礫混じり中砂		暗 褐		rd3		含水量多い 粒子径不均一 細砂を少量混入する 礫径φ2～8mm程度の礫を混入する		29 6.13 6.43	10 1 1	9 1 1	29 300 300										
7	6.58	6.50		粘土混じり細砂		暗 褐		rd3		含水量少ない～中位 粒子径概ね均一 所々、粘土が混入・挟在する		13 7.13 7.43	2 1 1	5 5 5	13 300 300										
8	5.58	7.50		細砂		暗 褐		rd3		含水量中位 粒子径概ね均一 中砂を混入する		18 8.13 8.43	4 1 1	6 6 6	18 300 300										
9				細砂		暗 褐		rd3		含水量中位 粒子径概ね均一 中砂を混入する		22 9.13 9.43	5 1 1	7 7 7	22 300 300										
10	3.08	10.00		粘土質細砂		暗 褐		rd3		含水量少ない 粒子径均一 粘土を多量に混入する		25 10.13 10.18	6 1 1	8 8 8	25 300 300										
11	2.28	10.80		細砂		暗 褐		rd3		含水量中位 粒子径均一 中砂および粗砂を混入する		19 11.13 11.43	6 1 1	7 7 7	19 300 300										
12	1.58	11.50		粘土		暗 褐 ／ 暗 緑		rc4		含水量少ない 粘性弱い 概ね均質 所々、固結状を呈する 13.0m付近より暗緑灰色を呈する		11 12.13 12.28	4 1 1	3 3 3	11 300 300										
13	-0.17	13.25		粘土		暗 褐 ／ 暗 緑				含水量少ない 粘性弱い 概ね均質 所々、固結状を呈する 13.0m付近より暗緑灰色を呈する		17 13.13 13.28	3 1 1	5 5 5	17 300 300										
14				粘土		暗 褐 ／ 暗 緑				含水量少ない 粘性弱い 概ね均質 所々、固結状を呈する 13.0m付近より暗緑灰色を呈する		23 14.13 14.43	6 1 1	7 7 7	23 300 300										
15				粘土		暗 褐 ／ 暗 緑				含水量少ない 粘性弱い 概ね均質 所々、固結状を呈する 13.0m付近より暗緑灰色を呈する		26 15.13 15.43	9 1 1	7 7 7	26 300 300										
16				細砂		暗 褐		rd4		含水量中位 粒子径概ね均一 所々、中砂を混入する 15.0m付近、所々シルトが挟在する 17.0m付近、粒子径細くなり微細砂が主体である 18.20m付近、シルトを混入する		58 16.13 17.13	14 1 1	20 20 20	58 300 300	260									
17				細砂		暗 褐				含水量中位 粒子径概ね均一 所々、中砂を混入する 15.0m付近、所々シルトが挟在する 17.0m付近、粒子径細くなり微細砂が主体である 18.20m付近、シルトを混入する		32 17.13 17.43	7 1 1	10 10 10	32 300 300										
18				細砂		暗 褐				含水量中位 粒子径概ね均一 所々、中砂を混入する 15.0m付近、所々シルトが挟在する 17.0m付近、粒子径細くなり微細砂が主体である 18.20m付近、シルトを混入する		22 18.13 18.43	4 1 1	7 7 7	22 300 300										
19				細砂		暗 褐				含水量中位 粒子径概ね均一 所々、中砂を混入する 15.0m付近、所々シルトが挟在する 17.0m付近、粒子径細くなり微細砂が主体である 18.20m付近、シルトを混入する		26 19.13 19.43	7 1 1	9 9 9	26 300 300										
20	-6.72	19.80		粘土質細砂		暗 褐		rd3		含水量少ない～中位 粒子径細かい 所々、シルトを少量混入する		24 20.13 20.43	8 1 1	7 7 7	24 300 300										
21	-8.52	21.60		シルト混じり細砂		暗 褐		rd3		含水量少ない～中位 粒子径細かい 所々、シルトを少量混入する		23 21.13 21.43	5 1 1	6 6 6	23 300 300										
22	-9.27	22.35		シルト混じり細砂		暗 褐		rd3		含水量少ない～中位 粒子径細かい 所々、シルトを少量混入する		20 22.13 22.43	2 1 1	4 4 4	20 300 300										
23	-10.52	23.60		シルト混じり細砂		暗 褐		rd3		含水量少ない～中位 粒子径細かい 所々、シルトを少量混入する		14 23.13 23.43	4 1 1	5 5 5	14 300 300										
24	-11.62	24.70		粘土質細砂		暗 緑		rd3		含水量少ない～中位 粒子径概ね均一 貝殻片を少量混入する		25 24.13 24.43	5 1 1	8 8 8	25 300 300										

25	-10.62	24.80	砂混じりシルト	暗緑灰	rd3	含水量中位 粒子径概ね均一 25.2mmより貝殻片を混入する	7	24.15	2	2	3	7	100
26	-11.72	25.90	細砂	暗緑灰	rd3	含水量中位 粒子径概ね均一 貝殻混じりシルト混じり細砂	25	25.45	5	8	12	25	100
27	-13.72	27.90	貝殻混じりシルト混じり細砂	暗緑灰	rd3	含水量中位 粒子径概ね均一 目殻片を多量に混入し、シルトを少量混入する	9	26.15	3	3	3	9	100
28	-14.32	28.50	細砂	暗緑灰	rd3	含水量中位 粒子径概ね均一 所々、シルトおよび礫を混入する	13	27.15	4	4	5	13	100
29	-15.72	29.90	シルト	暗灰	rc4	含水量少ない 粘性弱い 概ね均質 所々、細砂を極少量混入する	24	28.15	5	7	12	24	100
30	-16.52	30.70	細砂	暗灰	rd4	含水量中位 粒子径均一	15	29.15	4	5	6	15	100
31	-17.72	31.90	砂混じりシルト	暗灰	rc4	含水量少ない 粘性弱い 不均質である 所々、細砂を混在・挟在する	32	30.15	8	13	11	32	100
32	-18.32	32.50	細砂	暗灰	rd3	含水量少ない～中位 粒子径細かい	13	31.15	4	4	5	13	100
33	-21.52	35.70	シルト	暗灰 / 暗緑灰 / 暗灰	rc5	含水量少ない 粘性弱い 概ね均質 34.0mm付近より暗緑灰色を呈する 34.10～34.20m、細砂を挟在する 35.0mm付近より暗灰色を呈する	30	32.15	11	9	10	30	100
36	-22.92	37.10	シルト混じり細砂	暗灰	rd3	含水量中位 粒子径概ね均一 微細砂が主体である 所々、シルトが挟在する	12	33.15	4	4	4	12	100
37	-23.52	37.70	細砂	暗灰	rd4	含水量少ない 粒子径均一	18	34.15	6	6	6	18	100
38	-24.52	38.70	シルト混じり細砂	暗灰	rd4	含水量少ない～中位 粒子径概ね均一 所々、シルトが混在・挟在する	7	35.15	2	2	3	7	100
39	-25.62	39.80	シルト	暗灰	rc4	含水量少ない 粘性弱い 均質	28	36.15	5	9	14	28	100
40	-28.32	42.50	細砂	暗灰	rd5	含水量中位 粒子径概ね均一 10.0mm付近、所々シルトを混入する 40.6～40.8m、シルトを挟在する 41.5～41.7m、シルトを挟在する	44	37.15	11	18	15	44	100
43	-29.42	43.60	硬質シルト	暗青灰	rc5	含水量少ない 粘性弱い 均質	42	38.15	7	15	20	42	100
44	-31.62	45.80	細砂	暗灰	rd5	含水量中位 粒子径概ね均一 所々、中砂を混入する	10	39.15	3	3	4	10	100
46	-32.42	46.60	砂混じりシルト	暗青灰	rc5	含水量少ない 粘性弱い 不均質 所々、細砂を少量混入する	28	40.15	4	8	16	28	100
47	-33.52	47.70	細砂	暗灰	rd5	含水量中位 粒子径概ね均一 部分的に中砂を混入する	75	41.15	23	27	20	75	200
48	-37.62	51.80	硬質シルト	暗青灰 / 暗灰	rc5	含水量少ない 粘性弱い 概ね均質 50.0mm付近より暗灰色を呈する 51.0mm付近、有機物が混在する 51.5mmより砂を混入する	45	42.15	10	17	18	45	100
52	-43.17	57.35	細砂	暗灰	rd5	含水量中位 粒子径概ね均一 52.0mm付近、礫が点在する 53.0mm付近、粒子径細くなる	20	43.15	6	6	8	20	100
53							71	44.15	20	27	3	71	210
54							88	45.15	24	26	70	88	170
55							22	46.15	4	8	10	22	100
56							68	47.15	18	25	7	68	220
57							22	48.15	6	7	9	22	100
58							34	49.15	8	11	15	34	100
							12	50.15	3	4	5	12	100
							18	51.15	5	6	7	18	100
							83	52.15	24	26	50	83	180
							75	53.15	22	28	50	75	200
							79	54.15	23	27	50	79	190
							58	55.15	18	20	12	58	260
							100	56.15	30	20	50	100	150
							75	57.15	18	32	50	75	200